

# 2023 年度上期の協会計画研修状況 と下期研修について

研修部

2023年度上期が終わりました。今回は、協会計画研修の上期実施状況と下期開講研修のトピックスについて紹介します。

今年度予定している協会計画研修は、東西研修センターあわせて72科班257コースを計画し、約2,300名の受講者を見込んでおります。

上期開講した研修は、48科班146コース。新型コロナが5類感染症の位置付けになったこともあり、集合研修も概ね計画通り受講をいただき、リモート研修も含め、約1,300名の方々に研修を受講いただいております。

それぞれの分野ごとに振り返ります。

## 1. 電気通信設備の設計工事・保守技術

電気通信事業者向けの設計・工事・保守における技術者認定に関する内容や通信建設業界全体のレベル統一的な技術研修として、上期は「光ファイバケーブル技術科」や「土木設計科」、「所内系装置技術科」、「交流電源無瞬断切替主任技術者研修科」を開講。また、施工の安全・品質を確かなものとするための線路・土木の「品質管理科」や線路設計業務に必須である「社外折衝研修」や「支障移転対応技術科」、東日本研修センターの電力研修設備を使用する「分散給電装置科」といった研修、15科班17コースを開講し、約340名に受講いただきました。

その中の「光ファイバケーブル技術科」では、講師陣による受講者の理解度や技能習熟度に応じた細やかな指導、サポートを実施するとともに、物品算出等の座学授業の見直しを図り実習時間を拡大、受講者全員が4種類のクロージャ構築を完結できるカリキュラムに変更し、好評をいただきました（写真1）。また「交流電源無瞬断切替主任技術者研修科（再修）」は、集合研修と条件により再認定可となるリモート研修を開講。集合研修では手順書類改定内容や事故事例のポイントを電力研修設備を使用しながら確認できるなど、自身のスキル等のブラッシュアップにも役立てていただき、多くの方々に受講いただいております（写真2）。

下期は、開講日程が未定となっていた「所内保守業務研修科」を実習装置ごとに3科班に分け11月に集合研修として実施します。全体的に座学をコンパクトにし、実習も新しい装置に見直すなど故障対応技術習得のカリキュラムを充実させております。また、上期に1コース開講した土木設計科については、受講の追加要望がある



写真1 光ファイバケーブル技術研修模様



写真2 交流電源無瞬断切替主任技術者研修模様

ことから下期も1コース開講をする予定です。他の下期開講予定の研修の追加受講のご要望等がございましたら研修部までご相談いただけたらと思います。

## 2. ユーザ系設備の工事・保守技術

ユーザ向けの工事・保守等に関する技術研修は、ビジネスユーザ向けを中心に上期は24科班102コースを開講し、約530名に受講いただきました。

技術者認定に関する「IP宅内技術科」をはじめ、「ビジネス系ルータ研修科（設計・Config）」や「LAN/WAN技術研修科」は東西研修センターともにリモート形式でバリエーションを拡大し、上期は6科班17コースを開講、下期も同様な研修を実施します。

ビジネスフォン系の研修では、αZXを主としたカリキュラムに変更するとともに、研修開催元のご尽力もあり西日本で実施する研修のリモート化を拡大しました。

なお、リモート研修については大分定着化が図られ、スムーズな研修が行われてきていますが、事前の接続確認や受講環境面のご配慮・サポートを、引き続き宜しくお願いします。また、リモート研修を実施するにあたり、集合研修とは異なる機器類の導入や環境、体制、運用が必要となりますが、私共も関連の皆様と連携し、より効果的に研修効果が得られるよう工夫や改善を進めてまいります（写真3）。

## 3. 安全

安全に関する研修は、「安全専任者研修科」のほか技術者認定やレベル統一に関する「設備事故防止対策科」所内並びに電力の3科班7コースを上期開講し、約170名に受講いただきました。

各社での安全指導を担う指導者育成を目的とした「安全専任者研修科」は、昨年同様、当初予定者数よりも多

い70名に受講いただき、安全に対する重要性や取組み強化がうかがえるとともに、より研修効果が得られるよう、ブラッシュアップを検討してまいります。

また、「設備事故防止対策科（電力）」では、研修手順書の見直しや事故事例の追加も含めカリキュラムの充実化を図り、研修設備を使用した演習・体験による実践的な事故防止や対策の研修を実施しました。

下期は、上記研修や「設備事故防止対策インストラクター科」線路ならびに土木コースを開講します。

## 4. 資格法令関連

公的等資格取得に向けては、会社ごとに市中研修の受講や試験対策研修を実施されておりますが、協会研修としては、工事担任者資格取得をサポートする工事担任者養成課程のeLPITを提供し、上期分開講コースを260名の方々にご利用いただいております。

なお、10月よりeLPITがリニューアルされます。学習内容や基本機能はそのまま、今までの専用アプリからブラウザ利用による学習や受講進捗状況把握が容易になるなど利便性が一部向上しています。

「工事担任者」に必要な不可欠な知識と技術を計画的に習得できるとされることから資格取得に向け、ご利用願います。

## 5. 今後の研修実施について

下期開講を予定している研修の中で、詳細について調整中の研修にふれますと、昨年度末に通信分野におけるオンサイト業務の新たな複合技術者育成の一環として「基地局オンサイト保守基礎技術研修科」を実施しましたが、そこで得られた結果や要望を踏まえ、発注元・委託先等と協議し、開催ロケやカリキュラムについて検討しております。

また、上記以外の複合技術者育成や新たな分野に関するスキル習得にむけた研修化についても同様に検討してまいります。

最後に、上期に実施した研修で受講者からいただいたアンケートやコメント内容はすべて目を通し、委託先や講師陣、当該研修の専門メンバーとともに改善内容を検討し、次回の研修に活かしてまいります。

今後開講する研修を受講した際、受講者の皆様の忌憚のないご意見、ご要望などのコメントやアンケートのご回答をぜひお願いします。



写真3 リモート研修実施模様